

経済学部
2025 年度以降入学生

◆進級・卒業要件◆

本学部では進級および卒業するための要件を設けています。
下位年次から計画的に単位を修得しておくことが重要です。

進級・卒業に必要な単位数とG P A

区分			1年次→2年次の進級要件		2年次→3年次の進級要件		3年次→4年次の進級要件		卒業要件		計	
専門科目	演習・卒業研究		必修	基礎演習	基礎演習 専門演習Ⅰ		基礎演習 専門演習Ⅰ		基礎演習 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究	16単位	86 単位 以上	
	共通科目	コア科目群	選択必修			4単位以上		8単位以上		※1		12単位以上
			選択						※2			
		データ・サイエンス プログラム群	選択							※2		
	分野別科目	入門科目群	選択必修			4単位以上		6単位以上		※1		6単位以上
		ビジネス経済群 金融・不動産経済群 地域経済群 観光経済群 国際経済群	選択						(自コース)	※1		12単位以上
	(専門選択科目)		選択	(※1)必要単位数を超えて修得した単位数は専門選択科目として算入します。 (※2)コア科目群の選択科目、ならびにデータ・サイエンスプログラム群で修得した単位数は、 全て専門選択科目として算入します。								40単位以上
教養科目	人文科学系		選択						2単位以上	22単位以上	38 単位 以上	
	社会科学系		選択						2単位以上			
	自然・科学技術系		選択						2単位以上			
	地域志向系		選択									
	教養特別系		選択									
	英語系	必修				英語基礎会話Ⅰ 英語基礎会話Ⅱ	6 単位 以上	12 単位	英語基礎会話Ⅰ 英語基礎会話Ⅱ	6 単位 以上		12単位以上
		選択										
	外国語系		選択									
	日本語系		選択									
	数理・情報系	必修					以 上	情報リテラシーⅠ 情報リテラシーⅡ				
		選択										
	スポーツ系		選択									
キャリアデザイン系	必修					キャリアデザインⅠ	キャリアデザインⅠ		4単位以上			
	選択											
共通基礎系		選択										
必要修得単位数			上記の科目を含め 24単位以上		上記の科目を含め 60単位以上		上記の科目を含め 100単位以上		上記の科目を含め 124単位以上			
入学時からの累積GPA値			—		—		—		1.3以上			

- 注1 外国人留学生対象科目（「日本事情FⅠ」「日本事情FⅡ」を除く）、帰国学生対象科目（「日本事情RⅠ」「日本事情RⅡ」を除く）の修得単位のうち、4単位までを教養科目の英語系（「英語基礎会話Ⅰ・Ⅱ」を除く）・外国語系ならびに日本語系科目の単位に代えることができます。
- 注2 教職課程における「各教科の指導法」、「教育の基礎的理解に関する科目、道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目および教育実践に関する科目」、「大学が独自に設定する科目」の修得単位は進級・卒業（G P A）に必要な単位数に算入することはできません。

◆G P A 制度について◆

本学部では、G P A 制度を導入しています。

G P A とは、「成績の評語」に対応する数値として、「G P (Grade Point)」を付与し、履修した授業科目のG P に単位数を乗じた値の総和に対して、同授業科目の単位あたりの平均を算出した値のことで、これは各科目の成績平均値「G P A (Grade Point Average)」を用いて、単位数という学修の量だけではなく、成績評価に基づく質を重んじた学修をしてもらおうという制度です。

G P A は、各学生の指導担当教員が履修指導を行う際の指標として活用するほか、卒業要件にG P A 1.3 以上であることが含まれています。履修申請した科目のうち不合格科目が多くある場合、G P A を下げることになりますので、計画的に履修登録し、履修放棄などは避けて、履修登録した科目は最後まで受講するか、履修辞退制度を活用することが重要です。

成績の評語とG P の対応表およびG P A 計算式は次のとおりです。

成績	評語	G P (グレードポイント)	可否
認定	T		認定
100点～90点	S	4	合格
89点～80点	A	3	
79点～70点	B	2	
69点～60点	C	1	
59点～40点	D	0	不合格
39点～0点	E		
評価不能	*		

$$G P A = \frac{(4 \times S \text{ の修得単位数}) + (3 \times A \text{ の修得単位数}) + (2 \times B \text{ の修得単位数}) + (1 \times C \text{ の修得単位数})}{\text{履修した授業科目の単位数の総和 (不合格科目の単位数含む・履修辞退科目の単位数は含めない)}}$$

◆単位修得状況欄の確認方法について◆

単位修得状況欄については【略称】で表記されます。
下表の正式名称を参照し、進級・卒業要件の確認にご活用ください。

成績用科目分類（略称）	成績用科目分類（正式名称）
判定対象	判定対象科目
専門	◆専門科目◆
必修	《必修》
選必	《選択必修》
コア	【コア科目群】
入門	【入門科目群】
選択	《選択》
コア	【コア科目群】
データ・サイエ	【データ・サイエンスプログラム群】
自コース	【自コース】
他コース	【他コース】
資格認定	【資格認定科目】
コース未定	【コース未定時のビジネス・金融不動産・地域・観光・国際経済群の科目】 （1年次生のみ）
教養	◆教養科目◆
教養A群	【人文科学、社会科学、自然・科学技術、地域志向、教養特別系】 ※教養A群
人文科学	《人文科学系 選択》
社会科学	《社会科学系 選択》
自然科学	《自然・科学技術系 選択》
他学部	《他学部・他学科科目》
高大接続	《高大接続系》
教養B群	【英語、外国語、日本語、数理・情報、スポーツ系】 ※教養B群
英語必修	《英語系 必修》
英語外日	《英語系（資格認定含む）、外国語系、日本語系 選択》
情報必修	《数理・情報系 必修》
教養C群	【キャリアデザイン・共通基礎系】※教養C群
キャリア必修	《キャリアデザイン系 必修》
留学生等	【外国人留学生・帰国学生】
判定外	判定対象外科目
教職課程	◆教職課程科目◆

■問い合わせ先 教 務 課 072-800-1033/ 072-839-9106

経済学部
2020～2024 年度入学生

◆進級・卒業要件◆

本学部では進級および卒業するための要件を設けています。
下位年次から計画的に単位を修得しておくことが重要です。

進級・卒業に必要な単位数とGPA

区分			1年次→2年次の進級要件	2年次→3年次の進級要件	3年次→4年次の進級要件	卒業要件 (必要単位数)			計
専門科目	基礎科目	必修		経済学入門 (エコバックリテラー)	経済学入門 (エコバックリテラー)	経済学入門 (エコバックリテラー) 地域経済入門 観光学入門 国際経済学入門 ミクロ経済学Ⅰ マクロ経済学Ⅰ 社会経済学Ⅰ 統計学		16単位	86 単位 以上
	演習・卒業研究	必修	基礎演習	基礎演習 専門演習Ⅰ	基礎演習 専門演習Ⅰ	基礎演習 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究		16単位	
	地域経済群 観光経済群 国際経済群	必修				(自コース)		6単位	
		選択				(自コース)		※1 4単位 以上	
		選択必修	地域・観光・国際経済群の中から該当する科目				※1 8単位 以上		
	アドバンス科目群	選択				※1 10単位 以上			
(専門選択科目)	選択	(※1) 必要単位数を超えて修得した単位数は専門選択科目として算入します。						26単位 以上	
教養科目	人文科学系	選択				2単位以上		22単位 以上	38 単位 以上
	社会科学系	選択				2単位以上			
	自然・科学技術系	選択				2単位以上			
	地域志向系	選択							
	教養特別系	選択							
	英語系	必修			英語基礎会話Ⅰ 英語基礎会話Ⅱ	6 単位 以上 12 単位 以上	英語基礎会話Ⅰ 英語基礎会話Ⅱ	6 単位 以上 12単位 以上	
		選択							
	外国語系	選択							
	日本語系	選択							
	数理・情報系	必修					情報リテラーⅠ 情報リテラーⅡ		
		選択							
	スポーツ系	選択							
	キャリアデザイン系	必修		キャリアデザインⅠ	キャリアデザインⅠ		キャリアデザインⅠ		
選択									
共通基礎系		選択							
必要修得単位数			上記の科目を含め 24単位以上	上記の科目を含め 60単位以上	上記の科目を含め 100単位以上		上記の科目を含め 124単位以上		
入学時からの累積GPA値			—	—	—		1.3以上		

- 注1 外国人留学生対象科目（「日本事情FⅠ」「日本事情FⅡ」を除く）、帰国学生対象科目（「日本事情RⅠ」「日本事情RⅡ」を除く）の修得単位のうち、4単位までを教養科目の英語系（「英語基礎会話Ⅰ・Ⅱ」を除く）・外国語系ならびに日本語系科目の単位に代えることができます。
- 注2 教職課程における「各教科の指導法」、「教育の基礎的理解に関する科目、道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目および教育実践に関する科目」、「大学が独自に設定する科目」の修得単位は進級・卒業（GPA）に必要な単位数に算入することはできません。

◆GPA制度について◆

本学部では、GPA制度を導入しています。

GPAとは、「成績の評語」に対応する数値として、「GP (Grade Point)」を付与し、履修した授業科目のGPに単位数を乗じた値の総和に対して、同授業科目の単位あたりの平均を算出した値のことです。これは各科目の成績平均値「GPA (Grade Point Average)」を用いて、単位数という学修の量だけではなく、成績評価に基づく質を重んじた学修をしてもらおうという制度です。

GPAは、各学生の指導担当教員が履修指導を行う際の指標として活用するほか、卒業要件にGPA1.3以上であることが含まれています。履修申請した科目のうち不合格科目が多くある場合、GPAを下げるようになりますので、計画的に履修登録し、履修放棄などは避けて、履修登録した科目は最後まで受講するか、履修辞退制度を活用することが重要です。

成績の評語とGPの対応表およびGPA計算式は次のとおりです。

成績	評語	GP (グレートポイント)	可否
認定	T		認定
100点～90点	A	4	合格
89点～80点	B	3	
79点～70点	C	2	
69点～60点	D	1	
59点～40点	E	0	不合格
39点～0点	F		
定期試験未受験、 評価不能	*		

$$GPA = \frac{(4 \times A \text{の修得単位数}) + (3 \times B \text{の修得単位数}) + (2 \times C \text{の修得単位数}) + (1 \times D \text{の修得単位数})}{\text{履修した授業科目の単位数の総和 (不合格科目の単位数含む・履修辞退科目の単位数は含めない)}}$$

◆単位修得状況欄の確認方法について◆

単位修得状況欄については【略称】で表記されます。
下表の正式名称を参照し、進級・卒業要件の確認にご活用ください。

成績用科目分類（略称）	成績用科目分類（正式名称）
判定対象	判定対象科目
専門	◆専門科目◆
必修	《必修》
選必	《選択必修》
選択	《選択》
基礎科目	【基礎科目群】
自コース	【自コース】
他コース	【他コース】
アドバンスト	【アドバンスト科目群】
他学部	【他学部・他学科科目】
資格認定	【資格認定科目】
教養	◆教養科目◆
教養 A 群	【人文科学、社会科学、自然・科学技術、地域志向、教養特別系】 ※教養 A 群
人文科学	《人文科学系 選択》
社会科学	《社会科学系 選択》
自然科学	《自然・科学技術系 選択》
教養 B 群	【英語、外国語、日本語、数理・情報、スポーツ系】 ※教養 B 群
英語必修	《英語系 必修》
英語外日	《英語系（資格認定含む）、外国語系、日本語系 選択》
情報必修	《数理・情報系 必修》
教養 C 群	【キャリアデザイン・共通基礎系】※教養 C 群
キャリア必修	《キャリアデザイン系 必修》
留学生等	【外国人留学生・帰国学生】
判定外	判定対象外科目
教職課程	◆教職課程科目◆

■問い合わせ先 教 務 課 072-800-1033/ 072-839-9106

経済学部
2019 年度以前入学生

◆進級・卒業要件◆

本学部では進級および卒業するための要件を設けています。
下位年次から計画的に単位を修得しておくことが重要です。

進級・卒業に必要な単位数とG P A

区分			1年次→2年次 の進級要件	2年次→3年次 の進級要件	3年次→4年次 の進級要件	卒業要件 (必要単位数)		計
専門科目	基礎科目	必修		経済学入門 (エコバシカリテラシー)	経済学入門 (エコバシカリテラシー)	経済学入門 (エコバシカリテラシー) 地域経済入門 観光学入門 国際経済学入門 ミクロ経済学Ⅰ マクロ経済学Ⅰ 社会経済学Ⅰ 統計学	16単位	86 単位 以上
	演習・卒業研究	必修	基礎演習	基礎演習 専門演習Ⅰ	基礎演習 専門演習Ⅰ	基礎演習 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究	16単位	
	地域経済群 観光経済群 国際経済群	必修				(自コース)	8単位	
		選択				(自コース)	※1 4単位 以上	
		選択必修	地域・観光・国際経済群の中から該当する科目				※1 8単位 以上	
	アドバンス科目群	選択				※1 10単位 以上		
	(専門選択科目)	選択	※1) 必要単位数を超えて修得した単位数は専門選択科目として算入します。				24単位 以上	
基礎科目	外国語	必修			英語基礎会話a 英語基礎会話b	12 単 位 以 上	英語基礎会話a 英語基礎会話b	6 単 位 以 上 12単位 以上
		選択						
	日本語	選択						
	数学	選択						
	情報	必修					経済情報論	
	体育	選択						
教養科目	人文系	選択				2単位以上	22単位 以上	38 単位 以上
	社会系	選択				2単位以上		
	自然系	選択				2単位以上		
	地域志向系	選択						
	教養特別系	選択						
キャリア 形成科目	キャリアデザイン	必修		経済キャリア入門	経済キャリア入門	経済キャリア入門	4単位 以上	
		選択						
	キャリア基礎	選択						
必要修得単位数			上記の科目を含め 24単位以上	上記の科目を含め 60単位以上	上記の科目を含め 100単位以上	上記の科目を含め 124単位以上		
入学時からの累積GPA値			—	—	—	1.3以上		

- 注1 外国人留学生対象科目(「日本事情FⅠ」「日本事情FⅡ」を除く)、帰国学生対象科目(「日本事情RⅠ」「日本事情RⅡ」を除く)の修得単位のうち、4単位までを基礎科目の外国語(「英語基礎会話a」「英語基礎会話b」を除く)・日本語科目の単位に代えることができます。
- 注2 教職課程における「各教科の指導法」、「教育の基礎的理解に関する科目、道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目および教育実践に関する科目」、「大学が独自に設定する科目」の修得単位は、進級・卒業(G P A)に必要な単位数に算入することはできません。

◆G P A制度について◆

本学部では、G P A制度を導入しています。

G P Aとは、「成績の評語」に対応する数値として、「G P (Grade Point)」を付与し、履修した授業科目のG Pに単位数を乗じた値の総和に対して、同授業科目の単位あたりの平均を算出した値のことです。これは各科目の成績平均値「G P A (Grade Point Average)」を用いて、単位数という学修の量だけではなく、成績評価に基づく質を重んじた学修をしてもらおうという制度です。

G P Aは、各学生の指導担当教員が履修指導を行う際の指標として活用するほか、卒業要件にG P A 1.3以上であることが含まれています。履修申請した科目のうち不合格科目が多くある場合、G P Aを下げることでありますので、計画的に履修登録し、履修放棄などは避けて、履修登録した科目は最後まで受講するか、履修辞退制度を活用することが重要です。

成績の評語とG Pの対応表およびG P A計算式は次のとおりです。

成績	評語	G P (グレードポイント)	合否
認定	T		認定
100点～90点	A	4	合格
89点～80点	B	3	
79点～70点	C	2	
69点～60点	D	1	
59点～40点	E	0	不合格
39点～0点	F		
定期試験未受験、 評価不能	*		

$$G P A = \frac{(4 \times A \text{の修得単位数}) + (3 \times B \text{の修得単位数}) + (2 \times C \text{の修得単位数}) + (1 \times D \text{の修得単位数})}{\text{履修した授業科目の単位数の総和 (不合格科目の単位数含む・履修辞退科目の単位数は含めない)}}$$

◆単位修得状況欄の確認方法について◆

単位修得状況欄については【略称】で表記されます。
下表の正式名称を参照し、進級・卒業要件の確認にご活用ください。

成績用科目分類（略称）	成績用科目分類（正式名称）
判定対象	判定対象科目
専門	◆専門科目◆
必修	《必修》
選必	《選択必修》
選択	《選択》
基礎科目	【基礎科目群】
自コース	【自コース】
他コース	【他コース】
アドバンス	【アドバンスト科目群】
他学部	【他学部・他学科科目】
資格認定	【資格認定科目】
基教キャリア	◆基礎科目、教養科目、キャリア形成科目◆
基礎科目	【基礎科目】
外国必修	《外国語 必修》
外国日本	《外国語（資格認定含む）、日本語 選択》
情報必修	《情報 必修》
教養科目	【教養科目】
人文系	《人文系 選択》
社会系	《社会系 選択》
自然系	《自然系 選択》
キャリア	【キャリア形成科目】
キャリア必修	《キャリアデザイン 必修》
留学生等	【外国人留学生・帰国学生】
判定外	判定対象外科目
教職課程	◆教職課程科目◆

■問い合わせ先 教 務 課 072-800-1033/ 072-839-9106